小中一貫教育研修会

地域・学校・児童生徒の実態を踏まえた、９年間を見通した研究実践の充実に生かすため、各中学校区代表の研究主任を対象とした研修を実施しました。

＜第１回＞（平成２６年６月３０日）

特色ある中学校区づくりを進めるうえで核となる小・中学校の一貫した教育のあり方について研修しました。保育園・幼稚園も含めた連携の資料や家庭学習の手引きなども紹介され、各校区の取り組みについて活発な意見交換が行われました。

＜第２回＞（平成２６年１２月１５日）

小・中教科会や授業研究会、学習の手引きや自学ノートの実践など、各中学校区の学力向上の取り組みについて情報交換を行いました。どの校区も、第１回での提案がしっかりと形になっていました。

今後も、全国学力・学習状況調査等の分析から児童生徒のつまずきを的確に把握し、小・中学校が共に、的を絞った授業改善の取り組みを進められることを期待しています。